

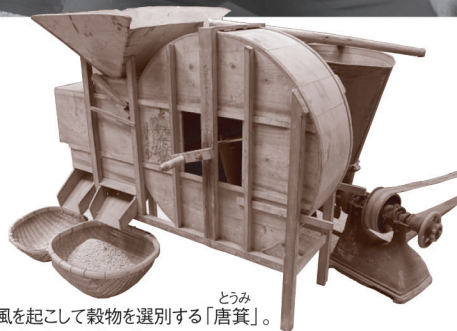
みはらっせの元気人 その②

農耕文化の伝承館「山里」館長 寺本 稔さん



**寺本 稔 プロフィール**  
昭和14年7月6日生まれ、68歳、世羅町徳市在中。幸水農園で梨をつくりながら、農機具の保管や伝承にも力をそいでいる。写真が趣味で、数々のコンクールで入賞している実力の持ち主。

農機具から見る先人の苦勞や知恵を後世に伝えていきたい



とうみ 風を起こして穀物を選別する「唐箕」。実際、大正時代に使われていたモノだ。

のどかな田園風景の中に、緑の看板がアクセントの可愛い小屋「山里」がある。廃品回収などで昔の農機具が出してあるのを見て、残しておかないといけない...と思っただ寺本さんが20数年前からコツコツ集めた農機具たちが所狭しと並んでいる。「二つひとつが農村の宝、日本の宝だと思っとなるよ、それを若い人に伝えたいんじゃない」と寺本さん。使い方の説明を聞きながら館内を巡れば道具たちが愛おしくなってくるので不思議。寺本さんが撮りためた町の風景や、昔の生活を再現した囲炉裏部屋も必見だ。



**農耕文化の伝承館「山里」**  
平成18年4月30日開館。米・麦作の農機具を中心に生活雑貨など二百点展示している。入館料は大人200円(小人は無料)、土・日・祝日のみ開館。世羅郡世羅町徳市1593-1 ☎0847-29-0012 マップP8-A



寺本さんの活動は世羅町の新しいスポットに。この日は広島テレビの取材も受けた。

みはらっせの読者のひろば

●私は、単身赴任で広島空港で仕事をしています。岡山にいる高校3年の娘が、受験ですのので元校長の久保名人の作る三原だるまをせび、送ってやりたいと思いますのでよろしくお願ひします。「みはらっせ」は、空港のJALカウンターにあったので、拜読しました。内容はたいへん面白く、あちこち行ってみたりになりました。また、面白いことがあれば、投稿いたしますので、これからもがんばってたいの記事をお願いいたします。(重泰達也、46歳、広島県東広島市) ★ご感想やオススメ情報などお待ちしています！

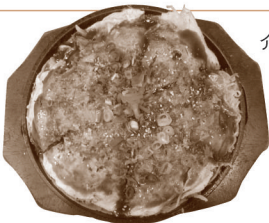
内容がたいへん面白い

●私の生まれ故郷三原に、こんな味のあるステキな小冊子ができてとてもうれしいです!!毎年、だるま市ではなくなりましたが「三原だるま」久保さんのように夢をもつて

だるま作りにはげんでいる人がいるなんて知りませんでした。ぜひ子供をつれて、工房にも行ってみようと思います。(なまこ、33歳、広島県広島市) ★工房はいつも明るく楽しい雰囲気です。

夫婦二人の生活になりよく

あちこちに出かけます。その時にとでも役立つ情報源で地域のガイドブックは大好きです。この本を見て気づいた事、久井はまた行つたことがない!それも三原から北上するR25をドライブしよう。そう決めた本です。来週が楽しみ。実際の秋に向かつて何があるのかしら〜次回では世羅の「唐まんじゅう」紹介させていただきます。(松田れい子、55歳、広島県呉市) ★カクイ皮が特徴の「唐まんじゅう」。スタッフもハマりました。



三原市城町にある「恵比須」ではタコ入りのお好み焼がある。

笑顔が良く大好きな店

●久井へ行く時は必ずよる店があります。それはうどん久井の市ななさんです。店の人(お姉さん)が本にのつておられて親しみを覚えました。とてもおもしろい。笑顔が良く大好きな店です。これからも安くおいしい店たくさん紹介させていただきます。(中山恵子、57歳、広島県福山市) ★こちらはお好み焼屋さんを紹介。

三原市を起点にして周辺

地域の季節の情報等が仔細に掲載されていますので、ドライブ等のおでかけに参考になると思います。(田坂良明、60歳、広島市安佐南区) ★お祭りや温泉巡りはいかが?!

みはらっせという言葉

初めて知りました。世羅のことをもっと知りたいと思いましたが、イベントがあるので行ってみたいと思います。(八木直美、43歳、三原市) ★三原と世羅で「みはらっせ」。これかも町の魅力とどんどんお伝えしていきます!



コクのなかにピリッと辛さが際立つ中間醸造(三原市西町)のテングアース。

編集者より

●周りからとんぱに非難されても、重慶のヨソアには、お好み焼にもやっぱリマヨネーズが欠かせません。マイマヨネーズ持参でさっそ食べ歩きの旅に出たいと思います。(三原市担当O西)

●「みはらっせ」を通して、改めて世羅町を見渡してみると、魅力あふれる良いもん、美味いもんがそこにはあります。井の中の蛙にならないよう、ふるさと再発見で多くの皆さんに楽しんでいただきたいと思っています。(世羅町担当M男)

●去る6月下旬、「みはらっせバスツアー」へ取材を兼ねて参加してきました。が、「このパン食べてみんちやい!」アは懐ちなくてええな!と参加者の方に、いろいろご協力いただきたく始末(泣)。でも!楽しかった!!みはらっせの魅力と人とのふれあい嬉しバスツアー、機会があればまた是非、参加してみてくださいな! (編M子)



おもわずピースバスに乗り込むツアー参加者の皆さん。